

# 田原・恋路ヶ浜 聖地PR

田原市と伊良湖岬観光協議会は、渥美半島の先端にある海岸「恋路ヶ浜」を名所として売り込もうと、恋人らのための「願いのかなう鍵」のモニュメントを造り、二十九日、お披露目した。ロマンチックな名称と裏腹に、地元で根付いた負のイメージを拭い去る狙いもある。モニュメント近くには縁起がよいとされる「四つ葉」「五つ葉」のクローバーを植え、記念に摘み取れるようにした。

(那須政治)

恋路ヶ浜周辺の飲食店や土産物店などでは取り付ける。市が定期的にこれらを撤去することを「恋人たちの聖地」として定着させようとしてきた。

モニュメントは、これまで「四つ葉のクローバー」をかたどった。製作費二十五万円は市が負担した。二十九日のお披露目には、昨年テレビの婚活番組がきっかけで、交際を始め、今年七月に結婚した農業粕谷幸二さん(三三)、美奈さん(三〇)夫妻、田原市伊良湖町も駆け付けた。今回は「子

恋路ヶ浜 伊良湖岬近くにある太平洋に面した延長一キロほどの海岸。「伊良湖岬灯台」につながる遊歩道が整備されている。真偽は不明だが、許されぬ恋に落ちた男女が駆け落ちした末、身投げしたとの伝説も残り、口コミで「訪れたカップルは破局する」とも噂される。地元の商店主らでつくる伊良湖岬観光協議会はその名称にちなんで「恋人たちの聖地」として売り込もうと、今月から、地元作家による恋愛小説のインターネット配信も始めた。

どもができませんように」とお願いした」と笑顔を見せた。

モニュメント設置に合わせ、より環境に優しくするため、これまでのプラスチック製からヒノキ製に替えたプレートがセットになった新たな「願いのかなう鍵」(税込み八百八十円)も発売した。

近くには、地元のクローバー研究家が栽培する四つ葉や五つ葉の株を植えている。随時株を補充するため、一人一本までなら、自由に摘んでいいことにした。恋人たちにとって「幸運づくし」の趣向だ。デートスポットとして売り込む一方で、地元では「別れが訪れる場所」とのうわさもなかなか消えないため、一気に払拭させようとの思いも込められる。協議会の渡辺幹和さん(三三)は「カップルだけでなく、家族や友達同士でも、誰でも立ち寄ってほしい」と期待を込める。

## 「願いのかなう鍵」モニュメントに

観光客らは思い思いの願いをしたためたプレート



「願いのかなう鍵」のモニュメント



上 錠を溶かして造ったハート形で四つ葉のクローバーをかたどったモニュメント。ヤシの根元には縁起のよい四つ葉、五つ葉のクローバーが植えられる

下 ヒノキ材を丸くかたどったプレートに生まれ変わった「願いのかなう鍵」いずれも田原市伊良湖町で